

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(1月分)について

2025年1月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	11,434,738	7,993,615	143.0%	13,794,895	82.9%
国内旅行	8,596,229	7,563,843	113.6%	7,550,075	113.9%
訪日旅行	97,428	53,805	181.1%	43,245	225.3%
合計	20,128,395	15,611,263	128.9%	21,388,215	94.1%

【概況】

1月の営業概況は、総取扱額201億2,839万5千円、2019年同月比94.1%となりました。海外旅行は、1月の出国日本人数が2019年度比で62.8%と前月より6.5ポイント後退し、11月に7割を超えた市場の回復率は鈍化しています。

こうした中、当社では年末年始の海外旅行需要を見込んで、アジアに加えて、エジプト、ドバイ、欧州を中心に長距離方面の募集告知を強化しました。また、旅行日数をより短期間にしたエジプトや欧州など新商品を投入することで、さらなる需要の活性化に取り組みました。

その結果、韓国、香港、ベトナムなどアジアの各方面に加えて、エジプト、ドバイの集客が2019年同月比を上回り、回復が進みました。取扱高は前年同月比143.0%、2019年同月比では82.9%となりました。

国内旅行は、1月の日本人の延べ宿泊者数が前年比で1.3%上回っているものの、11月と比べて1ポイント低下しており、冬季の需要にやや陰りが見られました。

こうした中、当社では温暖な沖縄で花火の体験型イベントを開催したほか、大相撲1月場所と歌舞伎鑑賞に東京観光を組み合わせた商品を全国で販売するなど、冬季の需要喚起に取り組みました。その結果、沖縄が好調に推移したほか、冬の味覚をテーマとした中国地方や関東が前年を上回りました。

取扱高は前年同月比 113.6%と前年を上回り、2019 年同月比も 113.9%となり、堅調な結果となりました。

株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年度 同月取扱高	2019 年度 同月比
海外旅行	2,369,065	2,033,294	116.5%	2,545,762	93.1%
国内旅行	160,998	142,691	112.8%	200,978	80.1%
訪日旅行	1,627	13,486	12.1%	121	1,344.6%
合 計	2,531,692	2,189,471	115.6%	2,746,861	92.2%

【概況】

1月の営業概況は、総取扱額 25 億 3,169 万 2 千円、前年同月比 115.6%、2019 年同月比で 92.2%となりました。

海外旅行は、インドをはじめ、アジアや北米が好調に推移し、前年同月比 116.5%となりました。

国内旅行は、企画旅行が好調に推移したことに加え、業務出張も順調で、前年同月比 112.8%となりました。

グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年度 同月取扱高	2019 年度 同月比
海外旅行	13,457,298	9,720,151	138.4%	16,229,000	82.9%
国内旅行	8,532,587	7,673,949	111.2%	7,664,415	111.3%
訪日旅行	99,055	67,291	147.2%	43,366	228.4%
合 計	22,088,940	17,461,391	126.5%	23,936,781	92.3%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724